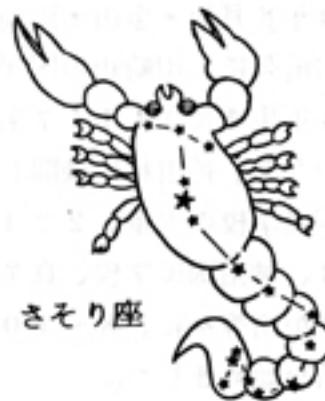


# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '89 5月号

## “四季の星座”



プラネタリウム “四季の星座”

5月6日～7月16日

春・夏・秋・冬、私たちは季節の移り変わりを、日の光、木々の緑、鳥のさえずりや虫たちの動きで楽しんでいます。目を空に向けてみましょう。太陽や月、星たちでも季節の変化を楽しむことができます。春、三日月が西空高く見え、春がすみに北斗七星、おとめ、ししの星たちが光ります。夏、七夕のおりひめ、ひ

こぼし、南低くさそり座が横たわり、雄大な天の川の流れをバックに流れ星が飛び交います。秋、日毎に早くなる夕暮れ、そして紅葉。カシオペヤ、アンドロメダ、ペルセウスがひろがります。冬、星座の王者オリオンがプレヤデスを追うように東の空に現れ、冬の夜空にぎやかにきらめきます。星座の四季を楽しみましょう。

# 学童疎開

(6月の寄贈品コーナー)

6月9日～7月30日

学校名 学年	3年	4年	5年	6年	計	備考
田島国民学校	50	55	40	44	189	10か所に分宿
日吉国民学校	一次181、二次177、				358	10か所に分宿
川崎国民学校	86	77	104	116	383	10か所に分宿
新町国民学校	40	40	50	50	180	9か所に分宿
学童疎開児童数					1110	神田 旭 金田岡崎 金目豊田城島

緒戦の勢いも束の間、米軍による日本本土空襲が時間の問題となるにおよんで、大都市の学童の集団疎開が実施されました。神奈川県では、川崎、横浜、横須賀の三市で実施されることになり、昭和19年8月旭・金田・岡崎・神田・豊田・城島の農村地帯に、川崎市の国民学校の児童（3年生から6年生まで）1,117名が疎開しました。

そのうち、神田村に疎開した学校は、川崎市立田島国民学校の児童、224名でした。これらの児童は、神田国民学校、真芳寺など6か寺、青年会館3か所等々に、8～40名のわりに分宿し疎開生活を始めました。

大神の真芳寺には、40名の児童が杉山智男先生に引率され生活しますが、たまたま、杉山智男先生は、市内公所出身の先生でした。

杉山先生のお話しによれば、疎開先での日課は、夏と冬、低学年と高学年では多少異ってはいましたが、夏は起床六時半、布団をたたみ、簡単に掃除をし、洗面。七時半に点呼をし直ちに食事、八時半から授業。午後は自由時間、七時夕食。八時からは30分の自習が行われ、九時就寝という毎日であったといいます。授業は、戦争中でもあり満足なものではなく、読み・書き・計算が主であったといいます。さらに、空襲が激しくなると、複式授業や、本堂で、庭の青空教室での授業も多くなり、正規の時間割通りの授業もできなくなつて

いきました。

授業のほか、農作業・防空壕の材木伐採の仕事等々児童にとり苦しい仕事もあり、十分な食事にも事欠き、おまけに風呂が各宿舎ともになかったので、農家のもらい風呂だけでは不十分で、しらみや皮膚病にさいなまれることも多かったです。

午後、遊びに疲れ、夕食までの間のひと時、親元を離れた辛い生活が、児童をいっさに寂しさのどん底へと落し、一人が泣くと全員がつられ泣くという日々が続きました。

しかし、苦しい事、寂しい事、辛い事ばかりでもなく、夏は、相模川での終日水泳、釣り、螢狩り、盆踊り等結構楽しい生活もあったようです。

杉山先生は、児童にそうした疎開児童の疎開先での生活の様子を絵に描き、離れて生活する親元へ送ることを奨励します。当時は、物資不足から写真を取ることもなく、疎開先での様子を知らせる唯一の手段が絵でした。テーマは何んでも良く、昼寝、もらい風呂、材木伐採、雑木拾い、農作業、夜の自習、蚊帳の中、青空教室、食事、盆踊り、螢狩り、木登り、かえぼり、本堂の掃除などなどあらゆる生活の様子がテーマとなりました。

こうした絵の何枚かが杉山先生の手本にも残りました。6月の寄贈品コーナーは、こうした絵の中から、選りすぐった作品を展示したいと考えています。どうぞご期待ください。（土井）

# 博物館の本

(平成元年4月1日現在)

ガイド4 地層と化石	400円
" 7 平塚四季の自然	500円
" 8 平塚石仏めぐり	550円
" 9 湘南の樹木	550円
湘南植物誌1・2・3	各800円
大磯丘陵の地質2・3	各900円
相模川流域の弥生時代	850円
平塚鳥類誌	600円
王子台遺跡発掘調査報告書	650円
博物館ガイドー相模川流域ー	800円

図録 相模湾の魚と魚撈	500円
図録 街の生きものたち	500円
図録 飛驒の民具	300円
図録 神奈川の化石	800円
図録 相模川流域の横穴墓	800円
図録 林の生きものたち	600円
シダ植物標本目録	500円
展示は語る	500円
石仏 7	400円

博物館年報 3~12号

自然と文化 2~12号

自然と文化 2 号	600円
" 3~4号	700円
" 5 号	550円
" 6 号	600円
" 7~8号	650円
" 9 号	700円
" 10 号	650円
" 11 号	700円
" 12 号	800円

博物館年報 3~6号	400円
" 7 号	500円
" 8 号	550円
" 9 号	600円
" 10~11号	750円
" 12 号	400円

博物館所蔵資料目録Ⅱ	350円
" III	500円
" IV	400円
" V	550円

平塚市史1 資料編古代・中世 5,300円  
付録 北条家過去帳・北条家系図

平塚市史2 資料編近世(1) 5,000円  
付録 近世平塚を学ぶ人のために  
—平塚市近世史入門—

平塚市史3 資料編近世(2) 5,000円  
付録 近世平塚の領主たち  
—領主の印判と花押—

平塚市史4 資料編近世(3) 5,000円  
付録 近世平塚と近在市場の相場  
—相場帳と石代納値段—

平塚市史5 資料編近代(1) 5,400円  
付録 明治初期の平塚の面影

平塚市民俗調査報告書  
1 神田・城島地区 完売  
2 豊田・岡崎地区  
3 土屋・吉沢地区 1,300円  
4 金目・金田地区 1,400円  
5 旭地区 1,300円  
6 大野地区 1,300円  
7 平塚(旧市域) 1,400円  
別編 明治38、9年 農具一覧併図解 1,600円

ご希望の方は、博物館受付カウンターにお申出ください。お問合せは下記へ。

平塚市博物館：平塚市浅間町12-41  
電話 0463(33)5111  
同市史編さん係：同(32)5843

# \*\*\* 行事案内 \*\*\*

## 5月

13	土	古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会／ナチュラリスト講座－神奈川県のカエル－
17	水	星を見る会－月を見よう－／天体観察会ガイダンス
27	土	古文書講読会／土曜観察会／石仏を調べる会
28	日	相模川を歩く会

### ●体験学習－草木で染めよう－

タマネギの皮、サクラの葉など身近な草木を使った草木染めの方法を実習します。23日は、小さな布を染めて色見本を作り、26日には、ハンカチなど希望の物を染めます。

日時：5月23日（火）・26日（金）2日間

会場：博物館科学教室

材料費：300円

申込み：5月19日までに往復ハガキで。希望者多数の時は、抽選で20名。

### ●5月寄贈品コーナー

#### 「新収集資料－自然－」

昨年度に新しく博物館で保存されることになった資料を紹介します。天体写真、自然に関する雑誌や文献、剥製標本などを展示します。

### ●星を見る会「月を見よう」

月面の海やクレーターを観察します。

日 時 5月17日（水）18時30分～20時

場 所 博物館科学教室・屋上

参加自由。当日科学教室にお集まりください。

### 臨時休館のお知らせ

5月29日（月）から6月

8日まで、全館の殺虫消毒のため、臨時に休館させていただきます。

### ●体験学習－裏打ち－

現物の古文書を使用して、簡単な裏打ちの技術を学びます。

日時：6月11日（日）午前10時～午後3時

会場：博物館科学教室

申込み：往復ハガキに氏名、住所、電話を明記のうえ、5月20日までに。

募集人数：10名（多数の場合は抽選します）

### ●天体観察会会員募集

環境庁の全国星空継続観察（スターウォッチングネットワーク）への参加を通して、天体の観察方法を身につけましょう。

期間：平成元年5月～平成2年2月

原則として毎月1回土曜日開催

（くわしくは館受付の日程表を

ごらんください。）

対象：高校生以上

定員：30名

申込み：博物館受付の案内書の申込用紙により、5月20日までにお申込み下さい。案内書の郵送をご希望の場合は切手62円分を同封の上博物館までお申込み下さい。